

吉野復興大臣の山形県及び福島県訪問ぶら下がり会見録
(平成29年11月4日(土) 11:55～11:59 於) 福島市)

1. 発言要旨

本日は、山形県米沢市と福島県福島市を訪問いたしました。

東北中央自動車道の福島大笹生インターチェンジと米沢北インターチェンジとの間の開通式に出席し、祝辞を述べさせていただきました。

また、今回開通した区間を走行して、道路の開通を心待ちにしておられた地元の方々の喜びの声、これを実感したところです。

特に、栗子トンネル、8,972メートルという、そういう長い長いトンネルを掘っておられましたので、その技術力、そして江戸時代から明治時代、その米沢街道の歴史を聞くと、本当に隔世の感があるな、そんな実態を思ったところです。

今回の開通によって地域の企業活動の活性化や観光、交流、その拡大が見込まれ、これから東北の復興、再生に向けて大いに加速させるものというふうに確信しております。

以上です。

2. 質疑応答

(問) 先程の御挨拶にありましたけれども、やはり山形の方、まだ多くの避難者の方がいらっしゃいます。

そういった意味での道路として、東北中央自動車道、どのように活用してもらいたいとお思いですか。

(答) 山形県には沢山、特に米沢市に、一時は避難をされている方々が日本一多かったものですから、これは無料の道路でございますので、そういう意味でいわゆる交流、家族との絆、これを深めていけるものと、こういうふうに考えています。本当に素晴らしいことです。

(問) 今、家族の絆というお話をされましたけれども、米沢、山形には母子避難の方が多いと、そういうことも念頭にあっての今の発言ということで理解してよろしいでしょうか。

(答) はい。

(問) また、避難者以外の経済活動などの面でのどういうふうな期待がございますでしょうか。

(答) 特に観光です。米沢の方々と相馬の方々と、そして福島の方々と、普通、旅館という若女将さんなんですからけれども、福島の場合は若旦那という形で、そういう三つの地域の観光の絆を深めていくというふうなことの交流も始まっております。復興庁として

も観光に、特に風評被害ですね、そういうものを払拭するべく予算も計上しているところなので、そんなところも使って振興を図っていきたい、このように考えています。

(問) 今のお話の延長してだったんですけれども、そういうことで観光がかなりしやすくなることで、風評被害の払拭にも今回の道路を開通することでつなげていきたいというお考えなんでしょうか。

(答) そうですね。風評被害の払拭には、やはり体験してみること、ここが一番大事なんです。来ていただいて、食べていただいて、泊まっていただいてという体験をいかにしていただくかというところに復興庁として力を入れていますので、正に道路ができれば簡単に来られるという形でございますので、風評被害払拭のためにも大事な大事な道路になるのかな、こんな思いです。

(以 上)